



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月12日

上場会社名 K&Oエナジーグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1663 URL <http://www.k-and-o-energy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡部 均
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部マネージャー (氏名) 中山 正吾 (TEL) 03-3241-5511
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	25,361	—	1,781	—	2,348	—	6,117	—
25年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 5,920百万円(— %) 25年12月期第1四半期 — 百万円(— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	204.10	203.33
25年12月期第1四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	84,589	66,044	74.4
25年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 62,903百万円 25年12月期 — 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	15.00	—	13.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 26年12月期(予想)第2四半期末配当金の内訳 普通配当 13円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,000	—	3,400	—	3,800	—	6,800	—	237.14
通期	81,500	—	5,100	—	5,700	—	8,000	—	285.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	30,336,061株	25年12月期	—	株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	2,948,213株	25年12月期	—	株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	29,975,769株	25年12月期1Q	—	株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、上半期が需要期にあたるため、上半期と下半期に著しい季節的変動があります。

・当社は、共同株式移転の方法により、平成26年1月6日付で関東天然瓦斯開発(株)と大多喜ガス(株)の完全親会社として設立されました。なお、当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年第1四半期実績はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、共同株式移転の方法により、平成26年1月6日付で関東天然瓦斯開発(株)と大多喜ガス(株)の完全親会社として設立されました。当社グループは、海外情勢等に左右されにくく長期安定的な供給が可能な国産天然ガスと、世界的にも貴重な資源であるヨードについて、開発・生産から供給・販売までを一貫した計画に基づいて行い、変化する事業環境に迅速に対応できる体制を経営統合により構築し、グループ戦略機能の強化、グループ経営資源の効率的活用、ステークホルダーの価値最大化を図ることで企業価値を向上させるとともに、未来を担う貴重な国際資源の生産者・販売者として、社会への貢献を続けることを目的に事業を開始いたしました。なお、当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年第1四半期実績はありません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては253億61百万円、営業利益につきましては17億81百万円、経常利益につきましては23億48百万円、四半期純利益につきましては負ののれん発生益46億18百万円を特別利益として計上したため、61億17百万円となりました。

なお、当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、上半期が需要期にあたるため、上半期と下半期に著しい季節的変動があります。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

<ガス事業>

大口のお客さま向けで、ガス販売が好調であったことや輸入エネルギー価格の上昇により販売価格が上昇したことなどにより、売上高につきましては233億75百万円、営業利益につきましては17億22百万円となりました。

<ヨード・かん水事業>

為替が円安で推移したことや、ヨード需要が堅調であったため販売価格が高めに推移したことなどにより、売上高につきましては12億80百万円、営業利益につきましては6億48百万円となりました。

<その他>

消費税率上げを前にガス機器販売が好調であったことなどにより、売上高につきましては7億5百万円、営業利益につきましては84百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況は、次のとおりであります。

<資産合計>

資産の合計は845億89百万円（流動資産343億91百万円、固定資産501億98百万円）となりました。

<負債合計>

負債の合計は185億44百万円（流動負債117億3百万円、固定負債68億41百万円）となりました。

<純資産合計>

純資産の合計は660億44百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の業績予想につきましては、負ののれん発生益の額が当初の見込みより増加したため、平成26年2月13日に公表いたしました連結業績予想を下記の通り修正しております。

なお、配当予想につきましては変更ありません。

平成26年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 42,000	百万円 3,400	百万円 3,800	百万円 6,000
今回修正予想(B)	42,000	3,400	3,800	6,800
増減額(B-A)	—	—	—	800
増減率(%)	—	—	—	13.3

平成26年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 81,500	百万円 5,100	百万円 5,700	百万円 7,200
今回修正予想(B)	81,500	5,100	5,700	8,000
増減額(B-A)	—	—	—	800
増減率(%)	—	—	—	11.1

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間
(平成26年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	6,929
受取手形及び売掛金	8,834
有価証券	17,105
たな卸資産	925
その他	605
貸倒引当金	△8
流動資産合計	34,391
固定資産	
有形固定資産	
機械装置及び運搬具(純額)	13,522
その他(純額)	17,135
有形固定資産合計	30,658
無形固定資産	1,919
投資その他の資産	
投資有価証券	14,943
その他	2,744
貸倒引当金	△67
投資その他の資産合計	17,620
固定資産合計	50,198
資産合計	84,589
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	6,598
引当金	61
その他	5,043
流動負債合計	11,703
固定負債	
長期借入金	1,260
退職給付引当金	3,844
その他の引当金	183
その他	1,552
固定負債合計	6,841
負債合計	18,544

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間
(平成26年3月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	8,000
資本剰余金	13,921
利益剰余金	41,215
自己株式	△1,129
株主資本合計	62,007
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	896
その他の包括利益累計額合計	896
新株予約権	112
少数株主持分	3,028
純資産合計	66,044
負債純資産合計	84,589

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	25,361
売上原価	21,292
売上総利益	4,068
販売費及び一般管理費	2,287
営業利益	1,781
営業外収益	
受取配当金	515
その他	123
営業外収益合計	638
営業外費用	
創立費	58
その他	13
営業外費用合計	71
経常利益	2,348
特別利益	
負ののれん発生益	4,618
その他	38
特別利益合計	4,657
特別損失	
固定資産除却損	45
その他	4
特別損失合計	50
税金等調整前四半期純利益	6,954
法人税等	767
少数株主損益調整前四半期純利益	6,187
少数株主利益	69
四半期純利益	6,117

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：百万円)
	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,187
その他の包括利益	
Δ 他有価証券評価差額金	Δ 266
その他の包括利益合計	Δ 266
四半期包括利益	5,920
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	5,842
少数株主に係る四半期包括利益	77

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、共同株式移転の方法により、平成26年1月6日付で関東天然瓦斯開発(株)と大多喜ガス(株)の完全親会社として設立されました。また、当第1四半期連結累計期間に自己株式を取得し、その一部を消却いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が8,000百万円、資本剰余金が13,921百万円、利益剰余金が41,215百万円、自己株式が△1,129百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨード・ かん水事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	23,375	1,280	24,655	705	25,361	—	25,361
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	—	0	3	4	△4	—
計	23,376	1,280	24,656	709	25,365	△4	25,361
セグメント利益	1,722	648	2,371	84	2,455	△674	1,781

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△674百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△734百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当社は、共同株式移転の方法により、平成26年1月6日付で関東天然瓦斯開発(株)と大多喜ガス(株)の完全親会社として設立されました。これに伴い、負ののれん4,618百万円が発生し、当第1四半期連結累計期間において特別利益(負ののれん発生益)に計上しております。